

沿岸各地の水温

(5月26～31日)

日本海 14～15℃台
陸奥湾 11～12℃台

津軽海峡 11～12℃台
太平洋 10℃台

今回は日本海側、津軽海峡、泊、茂浦で降温し、その他地域では昇温しました。平均前回差は+0.1となりました。

昨年と比べると、日本海側が-0.3度、津軽海峡側が-1.1度、陸奥湾内が-0.7度、太平洋が-1.3度で、平均昨年差は-0.9度となっています。

平年と比べると、日本海・津軽海峡で平年並み、陸奥湾・太平洋がやや低めで、平均平年差は-0.6度となっています。

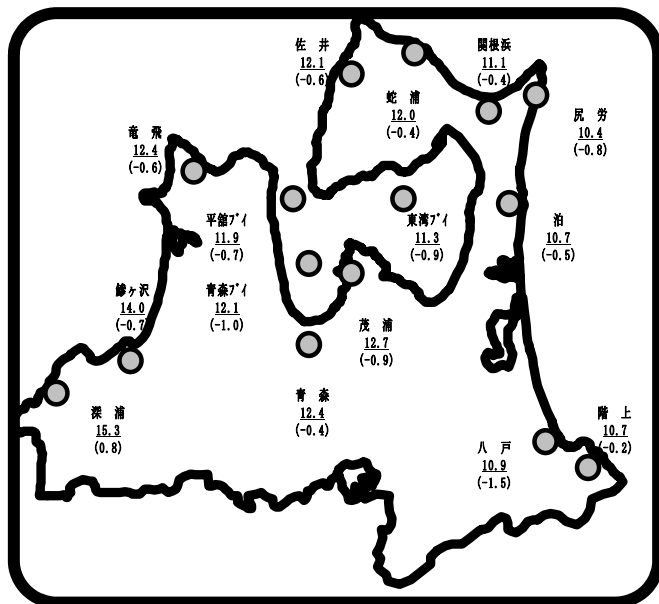


図 定地水温 (5月26～31日)

平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	15.3	+0.8	+0.2	-0.1
鱒ヶ沢	14.0	-0.7	-0.8	-0.3
竜飛	12.4	-0.6	-0.8	+0.4
佐井	12.1	-0.6	-0.6	-0.3
青森	12.4	-0.4	-0.6	+0.7
蛇浦	12.0	-0.4	-1.9	-0.2
関根浜	11.1	-0.4	-1.1	-0.1
尻労	10.4	-0.8	-2.1	+0.0
泊	10.7	-0.5	-1.9	-0.3
八戸	10.9	-1.5	-0.6	+0.2
階上	10.7	-0.2	-0.8	+1.3
茂浦	12.7	-0.9	-0.6	-0.3
平館ブイ	11.9	-0.7	-0.7	+0.0
青森ブイ	12.1	-1.0	-1.0	+0.1
東湾ブイ	11.3	-0.9	-0.6	+0.3
平均	12.0	-0.6	-0.9	+0.1

太平洋の海況 (5月29日～6月2日)

概況；沿岸水温は10～11℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べ1度ほど昇温しており、前年同期と比べると1度ほど低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

8℃等温線でみると東経142度30分付近までと、前回より強くなっています。

○親潮系冷水の南下

8℃等温線でみると北緯41度00分付近までと、前回より弱まっています。

日本海の海況 (5月29日～6月2日)

概況；沿岸水温は13～14℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回から変わっておらず、昨年同期と同程度の水温となっています。

◎日本海沖合定線観測 (6月)

5月24～26日試験船開運丸が、日本海で沖合定線観測を行いました。その結果は下表のとおりです。

対馬暖流の各層最高水温は0m層でかなり低く、50・100m層は平年並みで、対馬暖流の流幅は舢作崎線でやや広め、十三線では5月の観測時にはかなり広めとなっていたが、平年並みとなっており、水塊深度及び北上流量は平年並みでした。

6月の対馬暖流の勢力は、平年並みで推移すると思われます。

対馬暖流流勢指標6月

5月24～26日：開運丸

	2004	2005	2006	2007	2008	平年差	平年比
各層最高水温(℃)							
0m	16.7	15.1	15.8	15.7	14.5	-1.66	-137
50m	11.89	12.01	10.7	13.25	12.02	+0.28	+26
100m	11.4	10.45	10.05	11.4	10.01	+0.05	+6
流幅(マイル)							
舢作線	38.7	60.7	32.3	72.3	49.9	+10.8	+78
十三線	56.7	68.7	72.9	26.7	58.4	+5.8	+44
水塊深度(m)	223	228	216	234	200	+2	+6
北上流量	3.00	3.15	2.89	2.76	2.48	-0.06	-9

◎日本海におけるマダイの漁獲量について

下図は、日本海主要4港(鱒ヶ沢、深浦、大戸瀬、沢辺)の4月から5月のマダイの漁獲量を示したものです。2008年は約53トンで、好調だった前年(56トン)に次いで多い漁獲量となっています。

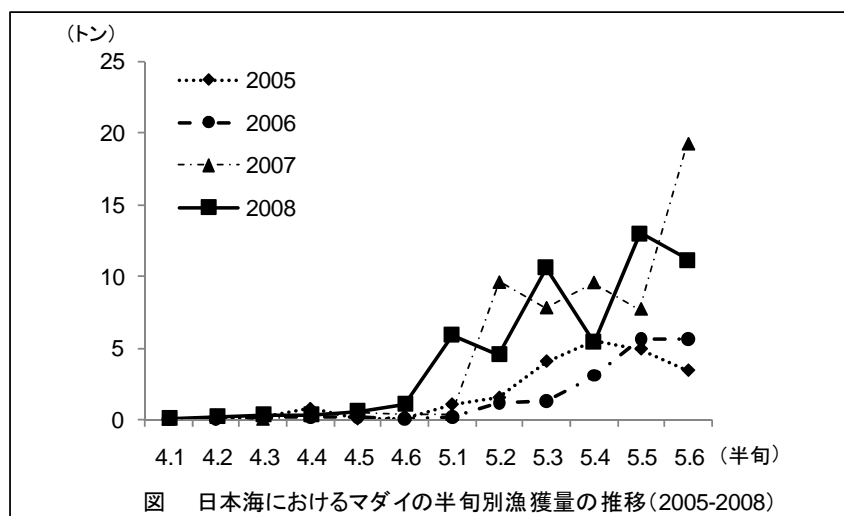
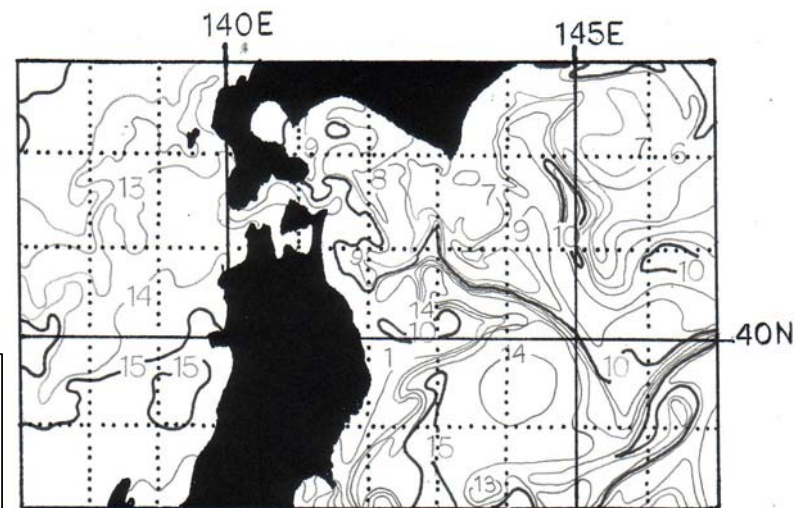


図 日本海におけるマダイの半旬別漁獲量の推移(2005-2008)



資料：(社) 漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第18号 6月2日

●六ヶ所沖の水温

	No.1ブイ		No.2ブイ	
	水深4m	水深5m	水深5m	水深20m
5月16～20日	9.81	9.59	9.30	9.30
5月21～25日	10.23	10.07	9.82	9.82
5月26～31日	10.31	10.30	10.08	10.08
前回差	+10.31	+10.30	+10.08	+10.08

※No.1ブイは40-58N, 141-25E、No.2ブイは40-57N, 141-25E